

## 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）活用事業の成果検証について

## 交付金の概要

平成26年12月に閣議決定された「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」において、具体的施策のひとつとして「まち・ひと・しごとの創生に向けた総合戦略の先行的実施」が位置付けられ、地方公共団体による地方版総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する優良施策等の実施に対して国が支援することを目的として「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」（地方創生先行型）が創設されたものです。

交付金活用事業名：シティセールス推進事業

交付額 59,444千円のうちシティセールス推進事業分 35,404千円

## 外部有識者による成果検証

実施する施策・事業については、成果を客観的に検証するための重要業績評価指標（KPI）を設定して進行管理を行っていくこととなりますが、その成果の検証については、国から妥当性・客観性を担保するために外部有識者による検証が求められていることから実施するものです。

交付金対象事業内訳	事業概要	担当課の検証	有識者会議の検証
シティセールス戦略策定事業 シティセールス戦略プランの策定及び周知。	市の魅力の効果的な発信を目的に、シティセールス戦略を策定するとともに、市民を対象とする公開シンポジウム、職員を対象とする研修、観光社会実験等を実施する。	・職員に対して、シティセールスについての意識啓発、市民の郷土愛の醸成が図れた。 ・AR技術を導入した観光パンフレットが制作できた。	
魅力アップ事業（イベント支援） ・入間万燈まつり、太鼓セッションの開催。	市民と行政との協働によるまつりやイベントを実施することで、市民がまちに誇りと愛着を感じ、観光誘客にも繋げる。	地域経済の活性化と地域文化の振興の一助として「ふるさと入間」の地域（コミュニティ）力を高めることができた。	
魅力アップ事業（観光振興） ・入間万燈まつりの開催。 ・観光協会による観光振興の実施。	商工業者が祭りに参加し、商工業及び地場産業のPRをすることにより、商工業の活性化を促進する。また、観光資源の掘り起こし、観光情報の発信等により観光振興を図る。	観光的な視点でイベントを活性化させることにより観光誘客が図れた。 市の魅力の発信や観光大使として「ご当地キャラクター」の制作など観光振興の素材づくりを展開し、郷土愛の醸成や地域活性化とともに、入間市の知名度アップが図れた。	
魅力アップ事業（地域資源活用） 主要産業のお茶を専門的・総合的に学び、体験するお茶大学の開催。	地域資源であるお茶に関する講座、地域の歴史や自然・文化財に関する講座等を実施することで魅力アップを図る。	開講11年目を迎え、カリキュラムの編成を大幅に変更し、受講者数の増加が図れた。	
希少植物自生地保護事業 希少植物自生地の活用を図るため、擬木柵の設置工事等の実施。	牛沢カタクリ自生地を保護するための整備を実施することで、来場者に良好な景観を提供する。	希少植物であるカタクリの保護が図れるとともに、案内板等の設置により見学者の利便性の向上に寄与した。	
近代化遺産整備活用事業 観光資源としての活用を図るため、近代化遺産の景観を向上させる整備の実施。	近代化遺産「旧石川組製糸西洋館」の整備を実施することで観光誘客を図る。	ライトアップ設備の設置や館内の照明器具を改修したことで、いままでとは違う西洋館の魅力を創り出すことができた。	

## ○交付金活用事業の評価

本事業における重要業績評価指標（KPI）：市の観光入込客数を1,000人増加させる。

実績値：平成26年度 7,237,276人 平成27年度 7,247,687人 10,411人の増加